

様式 A 音 楽（長尾 ）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	音 楽 Music		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・芸術	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	一年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	長尾千枝・非常勤講師		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	芸術		
	学科学習目標との関 連	本科目は一般科目学習目標「①教養豊かな実践的人間の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は、「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」である。		
	授業の概要	イタリア語やドイツ語の歌やギターの奏法を学び、表現を工夫して演奏する。いろいろなジャンルの音楽に触れ、その背景となる文化や歴史を探り音楽的視野を広げる。		
	学習目的	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
	到達目標	1. 歌唱、ギター、アンサンブルを通して、創造的な表現力を伸ばすとともに協調性を身につける。 2. 音楽の基本的な知識を習得し、楽譜を読む力を身につける。 3. 鑑賞では多様な音楽の持つ特徴を感じ、音楽の要素を理解し聴く能力を高める。 ◎目標達成のために他者と協調・協働して行動できる。		
履修上の注意		本科目は、1 学年の課程修了のために履修（欠席時間数が所定授業時間数の 3 分の 1 以下）が必須である。		
履修のアドバイス		実技を伴う活動では積極的に参加し、楽典や鑑賞では主体的に学ぶこと		
基礎科目		中学までの音楽		
関連科目		なし		

授業にかかわる情報		
授業の方法		歌唱・アンサンブルは協力して演奏できるように、またギターは各自演奏技術の上達を自覚できるように指導する。鑑賞では視聴覚教材を使って、多様な音楽に触れる。
授業計画	開講週	内容〔項目〕（指示事項）
	前期	1 週 ● ガイダンス，校歌の歌唱 2 週 ● 校歌，日本語の歌の歌唱 3 週 ● 校歌，イタリア語・イタリア歌曲の歌唱・鑑賞 4 週 ● 校歌，イタリア歌曲，ドイツ語・ドイツ歌曲の歌唱・鑑賞 5 週 ● 校歌，イタリア歌曲，ドイツ歌曲の歌唱・鑑賞 6 週 ● クラッピング・アンサンブルの創作 7 週 ● クラッピング・アンサンブルの創作・練習 8 週 ● クラッピング・アンサンブルの創作・練習 9 週 ● クラッピング・アンサンブルの発表 1 0 週 ● 楽典（五線譜，音名）・鑑賞 1 1 週 ● 楽典（音名，音符と休符）・鑑賞 1 2 週 ● 楽典（音符と休符，リズム）・鑑賞 1 3 週 ● 楽典（リズム，拍子）・鑑賞 1 4 週 ● 楽典（演奏順序の記号） （前期末試験） 1 5 週 前期末試験の返却と解答解説
	後期	1 6 週 ● ギターの各部名称，調弦 1 7 週 ● ギターの調弦，基本的な奏法，タブ譜の読み方 1 8 週 ● 1・2 弦による単旋律の課題曲練習 1 9 週 ● 1・2 弦による単旋律の課題曲練習 2 0 週 ● 実技テスト 2 1 週 ● すべての弦による単旋律の練習 2 2 週 ● 課題曲の練習 2 3 週 ● 課題曲の練習 2 4 週 ● 実技発表 2 5 週 ● 実技発表 2 6 週 ● 楽典（音程） 2 7 週 ● 楽典（音程，和音） 2 8 週 ● 楽典（和音，コードネーム） 2 9 週 ● 楽典（コードネーム） （後期末試験） 3 0 週 後期末試験の返却と解答解説

教科書，教材等	教科書：『高校生の音楽1』（教育芸術社） 副教材：高校生のための音楽研究ノート
成績評価方法	年2回の実技発表 40%，年2回の期末試験 40%（内訳は 20%×4） 鑑賞の記録・楽典問題（20%） 中間試験は行わず，授業時間内の実技発表に替える。期末試験では教科書の持ち込みを許可する。再試験は原則として行わない。
受講上のアドバイス	実技発表は完成度だけでなく，普段の取り組みも重視して評価する。ギターは各自目標を設定し，ワークシートに練習の経過や自己評価などを記入し期限までに提出すること。

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	創意工夫を生かした音楽表現をするため、グループで協力し、演奏技能を身に付け優れた演奏ができる。		創意工夫を生かした音楽表現をするため、グループで協力し、演奏技能を身に付け演奏している。		創意工夫を生かした音楽表現をするため、グループで協力し演奏技能を身に付ける努力をしている。		左記に達していない。
評価項目 2	楽曲の特徴や演奏を解釈し、その良さや美しさを主体的に味わい説明できる。		楽曲の特徴や演奏を解釈し、その良さや美しさを味わっている。		楽曲の良さや美しさを味わっている。		左記に達していない。
評価項目 3	音楽の基本的な知識を習得し、音楽の理解を深め、他者と協調・協働して主体的に音楽活動ができる。		音楽の基本的な知識を習得し、音楽を理解して、他者と協調・協働して音楽活動ができる。		音楽の基本的な知識を習得し、他者と協調・協働する努力をしている。		左記に達していない。
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	40	40	0	0	20	0	100
基礎的能力	40	20	0	0	20	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	0	20